３－４　書籍ソフト

書籍ソフトの定義

○「書籍ソフト」とは、書籍の形態で出版・流通するソフトのうち、コミック及び雑誌記事の単行本化以外のもの（いわゆる「書き下ろし」）を指す。テキストベースのものが多いが、図鑑・絵本など写真やイラストを中心としたものも含まれる。

○他の出版ソフトと同様、書籍についても商業ベースで出版・流通するものを対象とし、自費出版した書籍等は除くこととする。

業界の概要

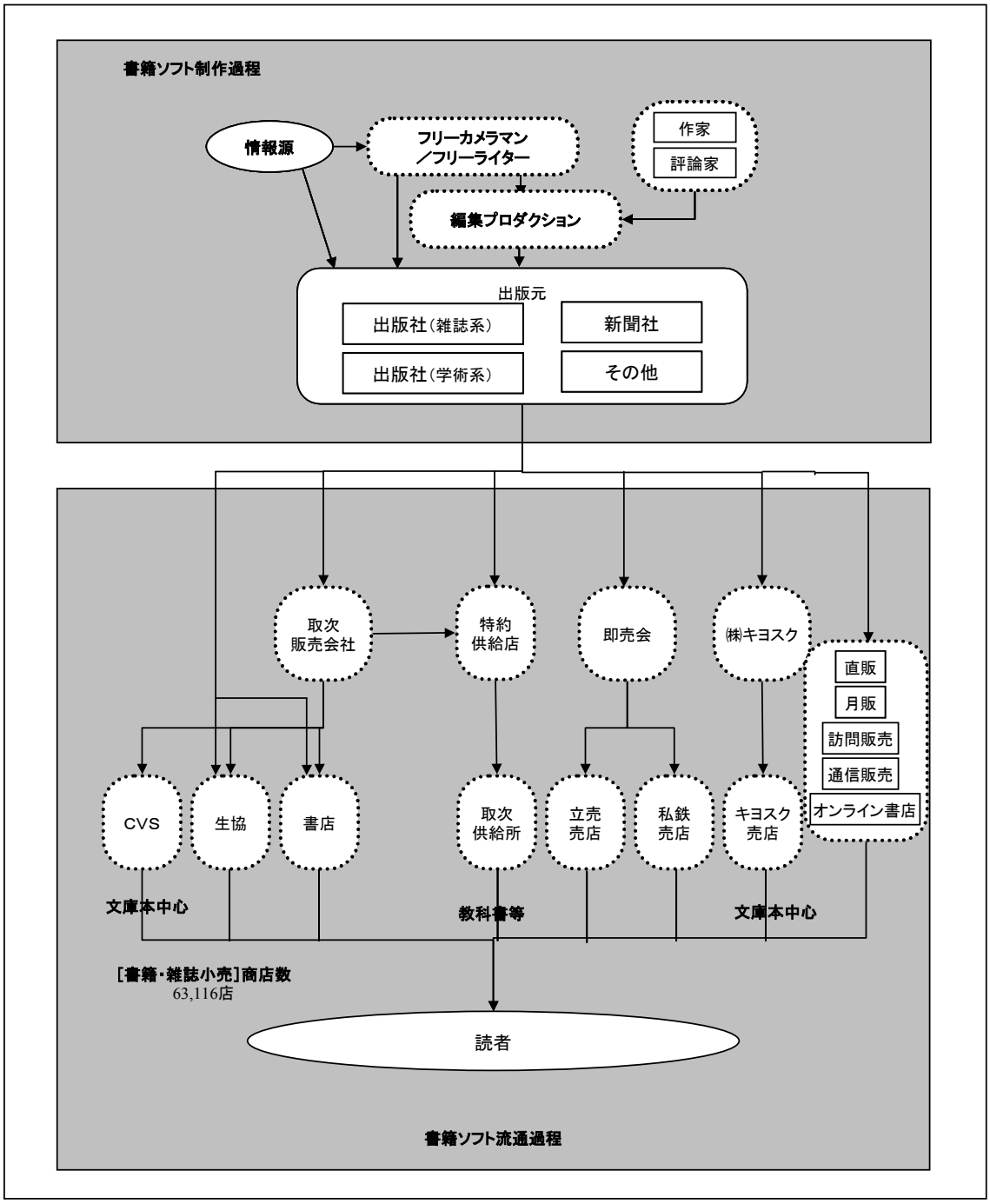
○出版社は全国で 4,391 社（出版年鑑）ある。マスメディア事業者としては異例に事業者数が多い。また、約半数の企業が従業員 10 人以下であるなど、零細事業者が多い点も代表的マスメディアの中では異例と言える。

○書籍ソフト制作は出版社ではなく外部の著作者による場合が多い。また、書籍出版の特徴は、ソフト制作者が必ずしも専門の「プロ」ではないこともある。学者や企業人が本を出すのは珍しいことではない。したがって、ソフト制作者規模の把握は他のソフトに比べて難しいと言える。

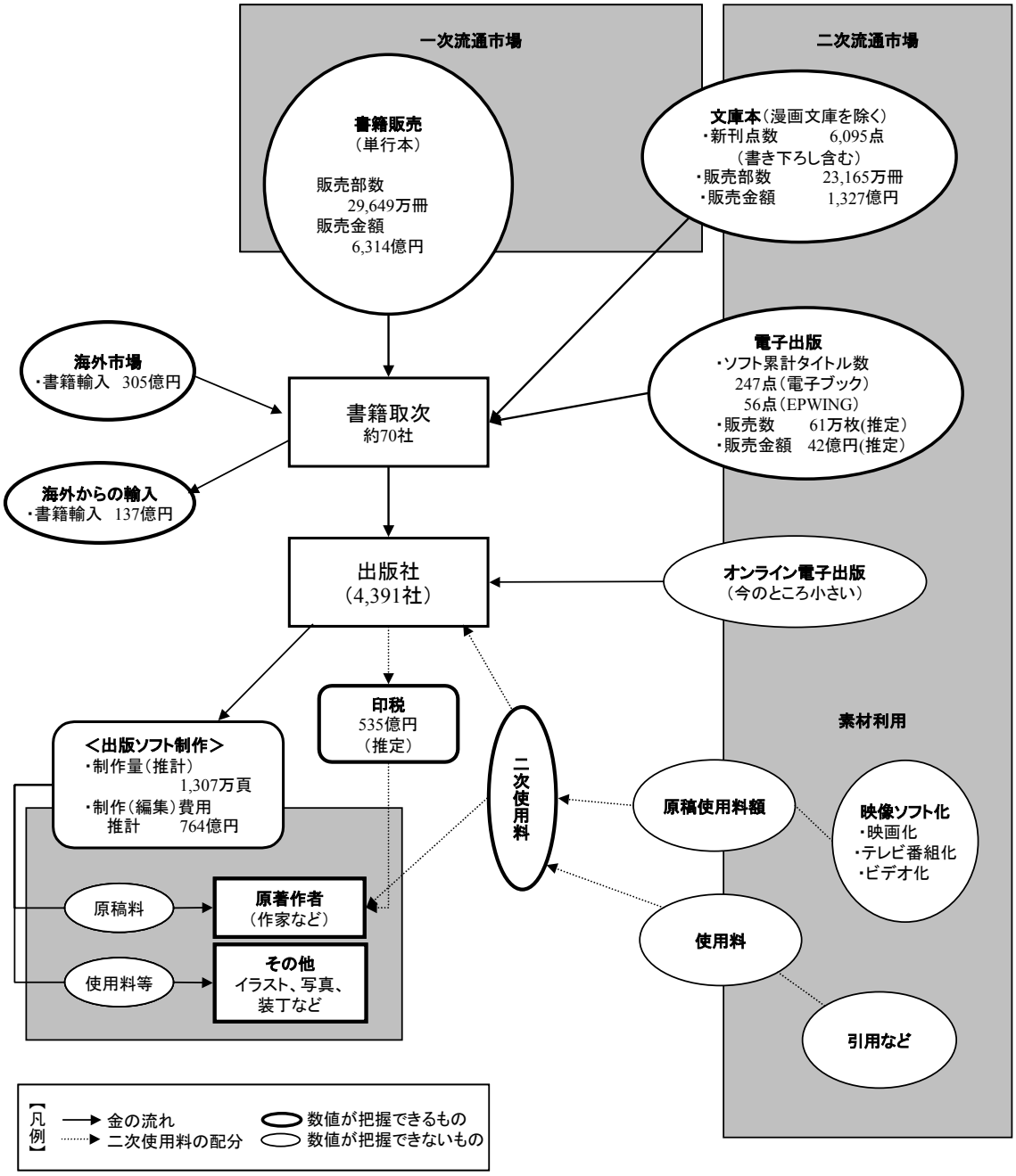
○書籍の流通ルートは書店が中心となるが、文庫本についてはコンビニエンスストア等での流通も多い。流通については、出版社ではなく書籍取次業者が力を持っている。

○新たな流通ルートとして、インターネット上で書籍を検索、購入できるオンライン書店が既存書店や取次、流通企業等により開設されている。また、ネットワークのブロードバンド化の進展を踏まえて、書籍を電子的に配信する電子書籍の事業化が進められている。

書籍出版業界構造


書籍ソフト制作過程
情報源
フリーカメラマン
／フリーライター
作家
評論家
編集プロダクション
出版元
出版社（雑誌系）
新聞社
出版社（学術系）
その他
取次
販売会社
特約
供給店
即売会
㈱キヨスク
直販
月販
訪問販売
通信販売
オンライン書店
CVS
生協
書店
取次
供給所
立売
売店
私鉄
売店
キヨスク
売店
文庫本中心
教科書等
文庫本中心
[書籍・雑誌小売]商店数
63,116店
読者
書籍ソフト流通過程

書籍ソフト市場の構造と規模（平成12年）



書籍ソフト市場規模、流通量数値算出の基準

基本的な考え方

○単行本の販売流通を書籍ソフトの一次流通市場として捉える。
出版ソフトは流通ルートでの滞留・返品があるため、「出荷」と「販売」ではデータが異なっている。ここでは、販売部数、販売金額をそれぞれ市場規模を推計する基礎データとする。

○文庫本流通を書籍ソフトの二次利用市場として捉える。文庫本には書き下ろしのものもあるので、ここでは便宜的に半分を二次利用市場に位置づける。また、文庫本と類似の位置づけのものに電子出版がある。ここでは電子ブックソフトについて、一般書籍と同様の考え方で流通量、市場規模を推計することとする。

○書籍ソフトの素材利用としては、映像ソフト等の原作として二次使用されるケースが多い。その場合、原作者には契約により二次使用料が支払われる。二次使用料支払いの対象となった作品数を基に、その支払い金額を推定することとする。

○書籍ソフト制作者の報酬形態は、ソフト制作者の多くが出版社外の者であるので、印税が中心である。そこで、ソフト制作者（作者）に支払われた印税・二次使用料額の合計と、出版社が書籍編集に要した費用の合計をソフト制作金額として捉える。ソフト制作量は、新刊発行点数×平均頁数で推計することとする。

書籍ソフト市場規模、流通量の算出方法

市場別		規模・量の考え方		算出方法・推定方法	典拠
一次流通市場	単行本としての出版流通（コミック、雑誌単行本、文庫本を除く）	市場規模	年間に販売された書籍の販売額	書籍年間販売金額－書籍扱いコミック販売金額－雑誌単行本化分販売金額－文庫本販売金額／２	出版指標年報
		流通量	年間に販売された書籍の延べ部数（頁数）（新刊・重版含む）	（単行本販売部数＋文庫本販売部数／２）×平均頁数	同上
二次利用市場	文庫本販売	市場規模	年間に販売された文庫本の販売金額（半分を二次市場と推計）	文庫本年間販売金額／２	同上
		流通量	年間に販売された文庫本の販売部数（半分を二次市場と推計）	文庫本年間販売金額／２×平均頁数	同上

市場別		規模・量の考え方		算出方法・推定方法	典拠
二次利用市場	電子出版	市場規模	年間に販売された電子ブックソフトの小売価格の合計	電子ブックソフト推定売上高	デジタルコンテンツ白書
		流通量	年間に販売された電子ブックソフトの延べ本数	電子ブックソフト推定売上高／平均単価(6800 円)	同上
	オンラインデータベース	市場規模	（計量不可）		
		流通量	同上		
素材利用市場	映像ソフト化（映画、テレビ番組、ビデオソフト）	市場規模	映像ソフト化に伴い原作者に支払われた二次使用料	（当面考えない）	
		流通量	映像ソフト化された作品数（又はその上映時間）	同上	
ソフト制作	書籍ソフトの制作	制作金額	出版社の編集費用と原作者に支払われる印税額（書籍販売金額から推定）の合計	出版社編集費（販売額の約１割とする）＋書籍販売金額×平均印税率(7%)	出版指標年報
		制作量	新刊書籍の原稿の述べ頁数（文庫本は半分が該当すると推定）	（単行本新刊点数＋文庫本新刊点数／２）×単行本平均頁数	同上
ソフト輸出入	書籍ソフトの輸出	市場規模	書籍の輸出額と海外への版権販売額の合計	書籍輸出額＋版権販売額収入総額（計量不可）	
		流通量	輸出された書籍部数（版権輸出分は計量不可）	書籍輸出部数	
	書籍ソフトの輸入	市場規模	書籍の輸入額と海外からの版権購入額の合計	書籍輸入額＋海外への版権支払い総額（計量不可）	
		流通量	1 年間に輸入した書籍の部数（及び翻訳作品書籍の出回り部数）	書籍輸入部数＋翻訳作品書籍の出回り部数（計量不可）	

書籍ソフト市場の動向

○一次流通市場の動向

・かつて出版の中心であった書籍は流通量、市場規模ともに 1996 年をピークに減少に転じている（図表 3-4-1、図表 3-4-2）。長期化する不況の影響もあり書籍の一次流通市場は低迷が続いている。低迷の要因には、インターネットや携帯電話等による通信費用の増加に伴う書籍購入費の減少や、消費者の読書離れ、新型古書店等の登場等が考えられる（図表 3-4-3）。

・書籍流通の低迷を打開すべく、オンライン書店や注文に応じて製本するオンデマンド出版、読者の希望により絶版本を復刊するなどの取り組みが始まっている（図表 3-4-4）。

～　オンデマンド出版　～

書籍コンテンツをデジタル化して蓄積し、注文に応じてオンデマンド印刷機で印刷する。ダウンロード形態で販売される電子書籍とは異なり、製本されて顧客に届けられる。一般書籍のオフセット印刷よりも少数部数の出版に適しており、希少本や絶版本の販売への活用がなされている。

～　絶版本の復刊　～

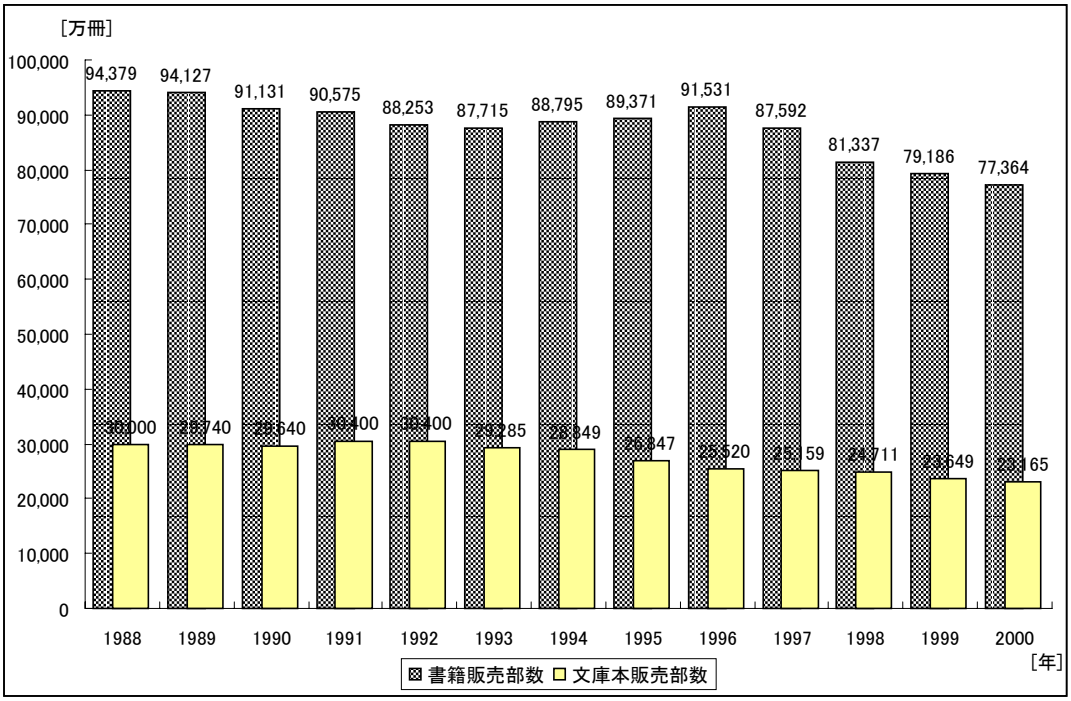
復刊ドットコムでは、復刊を希望する絶版本のリクエストをインターネット上で集め、100 票以上の希望が集まった時点で出版社または著作者と交渉を行う。交渉がまとまり復刊された書籍はインターネット上で販売される。2000 年 6 月のサービス開始から 2001 年 11 月までに累計 54 点の書籍を復刊している。

○二次流通市場の動向

・文庫本は、流通量、市場規模とも近年減少傾向が続いている。

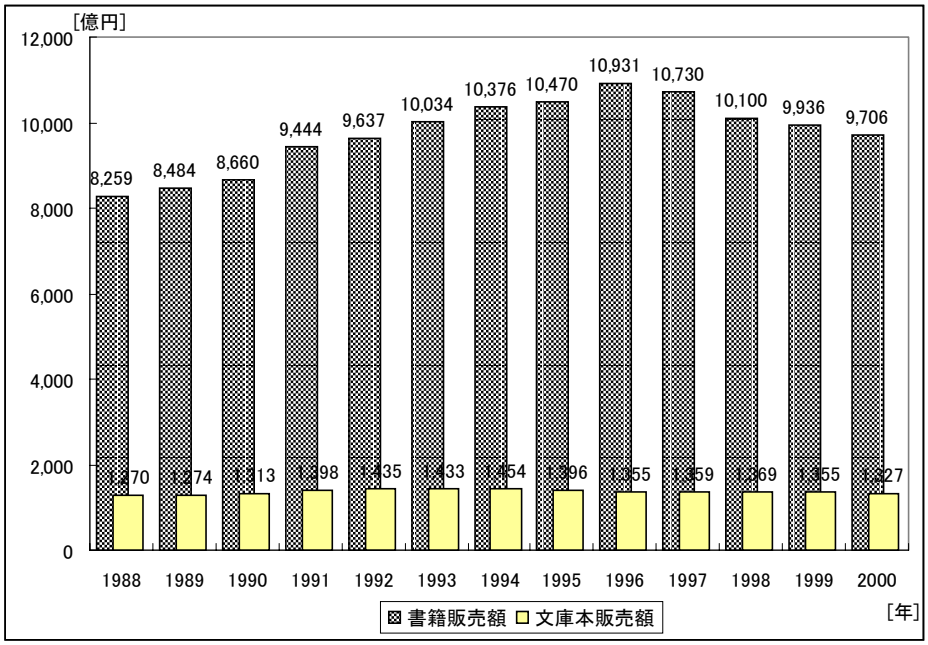
・小説等を電子データ化し、インターネットで流通させる電子書籍への取り組みが本格化し始めているが、市場は未成熟な段階にある（図表 3-4-5）。CD-ROM 等の流通は厳しい状況にある。従来 CD-ROM として多く流通していた事典・辞典等について、インターネットでの流通が進んでいる。

図表3-4-1　書籍販売部数の推移



注：書籍販売部数には書籍扱いコミック、文庫本も含まれる。
出典：（社）全国出版協会・出版科学研究所「出版指標年報」

図表3-4-2　書籍販売金額の推移



注：書籍販売部数には書籍扱いコミック、文庫本も含まれる。
出典：（社）全国出版協会・出版科学研究所「出版指標年報」